1月28日に札幌で新春講演会を開催

向上計画総研

「激変する2014年の住宅市場が見えていますか？」。ビルダー・工務店支援の「ビルダーズネット」を運営する経営コンサルティングの向上計画総合研究所（札幌市）は、消費増税後の住宅市場を考える「ビルダーズネット・2014新春講演会」を1月28日（火）午後1時30分から札幌市内のセンチュリーロイヤルホテル（札幌市中央区北5条西5丁目）で開催する。

道内のビルダー・工務店の経営者を対象にした恒例の新春講演会。今年4月からスタートする消費税率の引き上げを控えて、住宅市況のみならず住宅市場の構造そのものが大きく変化すると予想されるなか、そうした激変市場に備える住宅ビジネスのあり方について情報提供するのが狙い。

第1部は、道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所の福島明副所長が「2014年の技術潮流」をテーマに講演。国の住宅政策に関わる動きを踏まえ、これまで本道が培ってきた高断熱・高気密の施工技術をベースに、今後目指すべき住宅技術のありようについて解説する。

第2部の講師は㈱北海道住宅通信社の野島宏利社長。「2014年の住宅市場と工務店経営の課題」をテーマに、消費税率8％以降の住宅市況を展望し、職人不足や資材高騰などの不安要因に備えた工務店経営の課題について講演する。

第3部は、注文住宅にとどまらず介護、雑貨販売、海外事業などに新たな発想で挑戦し続ける㈱トミオ（本社・千葉市）の大澤成行社長が「住宅会社の未来」をテーマに、激変市場に対応した住生活関連ビジネスの新発想について披露する。

参加無料。定員50人。問い合わせは同社まで。電話011（738）7255。